



神田外語大学報

KUIS CAMPUS INFORMATION

第64号

2024年12月19日(木) 神田外語大学アドミッション&コミュニケーション部発行 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL(043)273-2826 FAX(043)273-2988 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/>

INDEX

浜風祭 02

KUIS NEWS FILE 04

- ・～KUIS生・KIFL生が神田を彩る～ 「つながる神田プロジェクト」で活躍！
- ・鶴岡公幸教授ゼミと地元企業のコラボ商品開発！
- ・吉川元偉元国連大使による特別講義
- ・浜之上幸副学長がハングル発展有功者玉冠文化勲章を受章

地球のたびびと 08

ボランティアセンター活動報告 10

スピーチコンテスト・弁論大会 12

- ・「第42回全日本中国語スピーチコンテスト 東京大会」で最優秀賞！
- ・「第17回インドネシア語スピーチコンテスト」で総合最優秀賞！
- ・「2024年JAL中国語スピーチコンテスト」で優勝！

キャリアNOW! 14

※掲載内容は取材当時のものです。



浜風祭

第38回浜風祭開催！

10月26日(土)・27日(日)の2日間、神田外語大学の学園祭「第38回浜風祭」がキャンパスで開催され、延べ約9,000人の方が来場しました。今年のテーマは「Rhapsody-ラブソディ」。音楽や詩における自由で即興的な形式を表すこのテーマに沿って、「枠にとらわれない自由な表現を目指し、学生一人ひとりの個性や情熱があふれる学園祭にしたい」というメッセージが込められています。当日は、学生団体による世界各国の料理・スイーツ販売、世界各国のダンス・音楽の披露、今年で2回目となる「福島のご記憶と今」を伝える福島ブースなどが出店。また、特別ゲストとして、人気お笑い芸人のカーネーション、ネルソンス、ストレッチーズの3組が登場。会場は笑いに包まれ、大いに盛り上がりました。



「第38回浜風祭」を公開中！掲載ページはこちら
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/campuslife/hamasai/>



「第38回浜風祭」 委員会 委員長挨拶

町田 祐亮
英米語学科 3年



こんにちは。第38回浜風祭委員会委員長の町田祐亮です。第38回浜風祭にご来場・ご協力いただき本当にありがとうございました。皆様のお力添えのおかげで、無事に開催することができたことを、心より感謝申し上げます。

浜風祭は年々成長を続けています。2年前の第36回では、コロナ禍を乗り越え、3年ぶりに対面開催を実現。昨年の第37回では、規模を拡大し、より多くの人と創り上げることに成功しました。そして今年の第38回は、その歩みをさらに加速させ、8,803名もの方々にご来場いただき、昨年を超える盛況となりました。

また、今年度はよりテーマを意識した浜風祭を目指しました。今年のテーマ「Rhapsody」に込めた「これまでの枠にとらわれず、自由に個性や情熱を表現し

たい」という思いを皆様にお届けできていたらとてもうれしいです。

私は昨年度に続き、2年目の委員長として今年の浜風祭に挑みました。委員会の体制や参加団体の規模をさらに拡充し、運営面でも一層の安定感を追求しました。約半年間の準備期間中、委員会メンバーは互いに支え合い、多くの意見を出し合いながら、情熱をもって取り組んできました。その熱意と行動力が、今回の成功につながったと確信しています。そんな熱意あふれるメンバーと楽しく真剣に運営した時間は、とても充実した時間でした。

そんな浜風祭は私たち運営側だけではなく、参加いただいている団体様、学生の皆様、応援・ご来場いただきました地域の皆様など、たくさんのご協力のもとで創り上げることができています。皆様からの楽しかったという声や暖かいご支援は、私たちの励みになっております。来年度の第39回浜風祭も、皆様と最高の学園祭を作り上げることができるよう、準備してまいります。

これからも神田外語大学浜風祭のご支援、ご協力を心よりお願いいたします。

British Hillsからのご案内

ご宿泊プランのご案内

- 卒業生の皆さま：宿泊料金20%割引
(一部対象外のプランあり、2025年4月以降は10%割引)
- 学生の皆さま：おひとり ¥2,000
(1泊2食付き・税サ込、ドミトリタイプ)
- 学生旅行プラン 1/6～3/31

ブリティッシュヒルズで日本にいながら英国旅行気分を味わってみませんか？学生の皆さまはドミトリタイプ¥2,000でご宿泊いただける他、サークルやゼミでもご利用が可能です。また保護者の皆さま向けのご優待プランもご用意しております。新白河駅発着の無料シャトルバスで冬の雪道も安心してご来館ください。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

1/6から3/31まで学生旅行プラン実施中。※休前日等除く。詳しくはお問い合わせください。

上記以外にも各種プランをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。

ご予約・お問い合わせ **ブリティッシュヒルズ TEL: 0248-85-1313**

ホームページ <https://www.british-hills.co.jp/>

大学院からのお知らせ

本学大学院言語科学研究科は、東京キャンパスに英語学専攻MA TESOLプログラム(修士課程)を置き、千葉幕張キャンパスに日本語学専攻 日本語学コース/日本語教育学コース(修士課程)と言語科学専攻(博士課程)を置いています。

それぞれのキャンパスで、大学院説明会、講演会、入学試験を実施しています。

英語学専攻のCertificate Program in TESOLは、専門実践教育訓練給付金の指定講座となりました。

英語学専攻【東京】

2025年度入試は終了いたしました。
(毎年12月が出願期間になります)

日本語学専攻【千葉】

Ⅱ期 出願期間 2025年1月1日(水)～1月8日(水)
試験日 2025年1月25日(土)

Ⅲ期 出願期間 2025年1月31日(金)～2月7日(金)
試験日 2025年2月27日(木)

■大学院言語科学研究科
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/grad/language/>

■お問い合わせ
 神田外語大学 言語科学研究科 Email: info@grad@ml.kuis.ac.jp
 英語学専攻 TEL:03-3254-3586(月・木～日 11:00～18:00)
 日本語学専攻 TEL:043-273-1320(月～金 9:30～17:30)

「神田外語大学 2024年度 卒業生アンケート」へのご協力のお願い

本学では卒業生の皆様からの忌憚ないご意見をおうかがいし、今後の大学運営に活かしていくことを目的として「卒業生アンケート」を実施しております。

アンケートは無記名式で、6分程度でご回答いただける内容となっております。今年度は、ささやかながらお答えいただいた方の中から抽選で3名様に¥5,000のQuoカードを進呈させていただきます。当選の発表は3月中旬の景品の書留郵便での発送をもってかえさせていただきます。ご回答いただいた内容は統計的に処理し、個人を特定することは一切ありません。また、いただいた情報を本調査以外の目的で使用することはございません。

このアンケートを通して直接ご意見をいただくことで、卒業生の皆様との絆を一層深め、本学が魅力ある大学としてさらに発展していくための方策を検討してまいりたいと考えております。多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。



<https://bit.ly/354Pfgy>

【実施期間】 2024年12月2日(月)14:00～2025年2月25日(火)14:00

左記のURLまたはQRコードにアクセスのうえ、ご回答ください。 回答は1人1回まででお願いします。

本アンケートのお問い合わせ先: 神田外語大学 学長室IR推進チーム(担当: 寺澤、村田)
 TEL 043-273-1607 Email officeir@kanda.kuis.ac.jp

！ 神田外語大学報は、2025年度より12月のみの発行になります(大学の最新情報は裏表紙QRコードより)

KUIS NEWS FILE

～KUIS生・KIFL生が神田を彩る～ 「つながる神田プロジェクト」で活躍！

神田外語グループは10月11日(金)・12日(土)、神田駅西口商店街振興組合などが主催する「つながる神田プロジェクト」に参画しました。神田外語大学の学生団体は、フラメンコやベリーダンス、よさこいのパフォーマンスを通じ、地域住民と活気あふれる交流の場を創出しました。また、姉妹校の神田外語学院の学生たちは、新潟県の関根学園高等学校の高校生と共に「おかえりby雪國商店」を出展し、上越の特産品を販売して都心に味と文化を届けました。



「『夢のゲーム』大募集!実装版」でGLA学生が優秀賞を受賞!

GLA学部3年の武田千穂さんと2年の児玉仁さんが、(公財)中山隼雄科学技術文化財団主催「『夢のゲーム』大募集!実装版」で優秀賞を受賞しました。受賞作品「幸せゲーム」は「特権」をテーマに、プレイヤーが社会的不平等を体感できる内容です。GLA学部での学びを活かし、他者の視点に立つ重要性をゲームに反映。特権や社会課題について考えるきっかけを提供する作品として評価されました。ゲームの詳細は、以下のQRコードよりご覧ください。



「学生アイデアコンテスト2024」でGLA学生が特別賞を受賞!

GLA学部1年生の学生4名が、国際協力NGOセンター主催「学生アイデアコンテスト2024」で特別賞を受賞しました。外国人観光客向け防災情報アプリ「ヘルイチ」を提案したもので、「ヘルイチ」は「Help Each Other」の略です。平常時から地震直後、避難所生活までの段階に応じた支援機能を特長とし、日本人と外国人が協力できる仕組みを目指したアプリです。



「働くってなんだろうエッセイコンテスト」で学生5名が入賞!

高濱優子特任教授の授業「キャリアデザインII」を履修する学生が、「働くってなんだろうエッセイコンテスト」で5名入賞しました。このコンテストは、(公財)勤労青少年躍進会・(一社)日本勤労青少年団体協議会が主催し、「働くこと」をテーマにしたエッセイを募集するもので、学生たちは授業を通じて磨いたスキルを活かして取り組みました。

鶴岡公幸教授ゼミと地元企業のコラボ商品開発!

■鶴岡ゼミ×東あられ「Petit Voyage」

鶴岡公幸教授ゼミの学生たちは、千葉県内に工場を構える老舗菓子店「東あられ本舗」とコラボ商品「Petit Voyage(プチ・ヴォヤージュ)」を開発しました。コンセプトは「世界を感じる、旅するお煎餅」で、世界各国のフレーバーが楽しめる2種類(メープル醤油風味、パエリア風味)のポケットサイズのあられ煎餅です。浜風祭でお披露目され、パエリア風味は東あられ両国本店でも11月18日(月)から販売しています。



■鶴岡ゼミ×ピーターパン「ラザニアパン」

鶴岡公幸教授ゼミの学生たちは、千葉県のベーカリーチェーン「ピーターパン」とコラボ商品「ラザニアパン」を開発しました。この商品は、海外の食文化を取り入れ、クリスマスシーズンを彩る特別な一品です。浜風祭でお披露目され、ピーターパン店舗でも11月1日(金)からクリスマスまで販売しています。



■鶴岡ゼミ×スイーツミズノヤ「大人のチョコバナナケーキ」

鶴岡公幸教授ゼミの学生たちは、千葉市の洋菓子店「スイーツミズノヤ」とコラボ商品「大人のチョコバナナケーキ」を開発しました。この商品は、甘さをおさえたカロリー控えめの商品として、幅広い世代に楽しんでいただける一品です。浜風祭でお披露目され、一般販売は未定です。



学内のSDGs活動を盛り上げる学生団体「KUIS DGtaLink」

「KUIS DGtaLink」は、学内のSDGs活動の支援と連携を目的に2023年度に設立されました。代表の寺田遥音さんを中心に、持続可能な取り組みを広げるためのイベントや情報発信を行い、アクター同士のつながりを促進しています。活動の詳細は、以下のQRコードよりご覧ください。



フェアトレードを通じて持続可能な未来を目指す学生団体「IRIS」

「IRIS」は、フェアトレードを通じて持続可能な社会を目指す活動を行っています。代表の中島クラレンズさんを中心に、フェアトレード商品の販売や啓発活動を展開し、環境や社会に配慮した取り組みを広めています。活動の詳細は、以下のQRコードよりご覧ください。



(株)OSBSの寄付講座「ダイバーシティマネジメント講座」を開講

神田外語大学キャリア教育センターは、(株)OSBSの全15回にわたる寄付講座「ダイバーシティマネジメント講座」を通じて、学生のキャリア形成支援に取り組みました。この講座では、「キャリア開発B」科目の中で、障がいや共生社会などについて、具体的な事例や専門家による講義、ワークを通じて、今後のキャリア設計や日常生活に活かせる貴重な経験となりました。



吉川元偉元国連大使による特別講義

■「米大統領選挙について考える」

10月23日(水)、吉川元偉元国連大使による特別講義「米大統領選挙について考える」が開催されました。講義では、アメリカ大統領選挙の概要や選挙人団、スウィングステートといった米国の選挙制度の特徴が解説され、民主党のハリス候補と共和党のトランプ候補の政策が取り上げられました。また、移民政策や妊娠中絶問題などの争点についても触れ、学生たちは日本の選挙との違いを通じて、米国選挙の仕組みとその重要性への理解を深めました。



■「日本の抱える領土問題」

11月13日(水)、吉川元偉元国連大使による特別講義「日本の抱える領土問題」が開催されました。講義では、トランプ候補のアメリカ大統領当選がもたらす国際的な影響の解説から始まり、日本の領土問題をめぐる複雑な国際関係や歴史的背景について、多角的に説明されました。奄美群島や北方領土、竹島、尖閣諸島を中心に、各国の主張や経緯について具体的に解説されました。学生たちは熱心に耳を傾け、自らの意見を述べる場面も多く見られました。この講義を通じて、日本の領土問題を改めて見つめ直す貴重な学びの機会となりました。

第100回外務省在外公館派遣員試験
本学から5名の学生・卒業生が合格

第100回外務省在外公館派遣員試験に5名が合格しました。この14年間で、本学と姉妹校・神田外語学院の学生・卒業生の外務省在外公館派遣員試験合格は、世界88カ国250名となりました(2024年12月1日現在)。第100回試験の合格者5名は右記のとおりです。



合格者	派遣先
友近 菜那さん (グローバル・リベラルアーツ学科4年)	在バーレーン日本国大使館
内田 瑛介さん (英米語学科4年)	在ジグダ日本国総領事館
堀屋 萌々子さん (イベロアメリカ言語学科スペイン語専攻2024年卒)	在ニカラグア日本国大使館
赤司 帆乃香さん (イベロアメリカ言語学科ブラジル・ポルトガル語専攻4年)	在サンパウロ日本国総領事館
中村 好良鹿さん (アジア言語学科タイ語専攻4年)	在チェンマイ日本国総領事館

「神田外語進学アドバイザー」新規スタッフを募集

神田外語大学・学院では全国高校向けの広報活動をより充実させるべく、お住まいの地域周辺の高校を訪問し、先生や生徒に大学、学院の紹介を行う「神田外語進学アドバイザー」を募集しています。1994年にスタートした制度で、現在、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、長野、静岡、福岡地域にて、計34名のスタッフが活動しています。

今回は以下の地域にお住まいの方を募集します

北海道札幌市周辺、宮城県仙台市周辺、東京都(台東区、西東京市、府中市周辺)、千葉県(君津市、印西市、東金市、浦安市、千葉市、木更津市) 神奈川県(藤沢市、茅ヶ崎市、横浜市周辺) (右記、県内広範囲に活動できる方を歓迎します) 群馬県、栃木県、新潟県、長野県、山梨県

【応募資格】

- 神田外語学院または神田外語大学を卒業後、3年以上の職務経験があること
- 平日の昼間にご自身で高校にアポイントメントをとったうえで訪問が可能なこと
- 年間10回程度(1回につき2時間～4時間)の指定研修に参加可能であること
- 可能であれば自動車の運転ができること
- 基本的なPC操作(インターネット、メール、Word、Excel)ができること
- インターネット回線、PC等の通信機器が自宅にあること

【雇用形態】

- 業務委託(単年契約)※活動状況により契約更新も可能です

ご興味がある方は必要事項(氏名(フリガナ)、既婚の方は旧姓、卒業年及び学科・専攻、現住所、電話番号)を記入し、下記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

応募締切：2025年1月15日(水)

〈お問い合わせ先〉

神田外語大学アドミッション&コミュニケーション部進学アドバイザー募集係
〒261-0014 千葉市美浜区若葉1-4-1

TEL:043-273-2826 FAX:043-273-2988 E-mail:event@kanda.kuis.ac.jp

※ご記入いただく個人情報は、神田外語進学アドバイザー担当、及び神田外語グループからさまざまなご連絡をする目的にのみ使用いたします。

浜之上幸副学長が
ハングル発展有功者玉冠文化勲章を受章

本学の浜之上幸副学長(韓国語専攻教授)が、韓国文化とハングルの発展への多大な貢献が評価され、「ハングル発展有功者玉冠文化勲章」を受章しました。この勲章は、韓国文化及びハングル発展に優れた功績を残した人々に授与されるもので、浜之上副学長は今回の叙勲で最高位の玉冠文化勲章を受章しました。1990年代序盤から韓国語普及・大衆化に寄与し韓流ブームの礎を築き、対外日韓交流活動や研究に邁進。韓国大学生訪日研修団の本学への受け入れと共に、韓国国内15大学との交換留学協定締結を通して、日韓友好に大きく貢献した点や、30年余り研鑽した現代韓国語の文法体系に関する研究業績が高く評価されました。



中国人留学生同窓会を開催

10月27日(日)、浜風祭にあわせて本学で中国人留学生同窓会を開催しました。卒業生・在学生・そのご家族をあわせて28名が参加し、自己紹介やゲーム、日本で生活する中国人が直面する課題について意見交換するなど、有意義な交流の場となりました。同窓会後はキャンパス見学も行われ、母校の変化に驚く声も聞かれました。



ASIA ベトナムインターンシップ2024

8月5日(月)から23日(金)の3週間、本学の2～4年生15名がベトナムのダナンとホーチミンで企業インターンシップに参加しました。このプログラムは2014年に開始され、これまで300名以上の学生が東南アジアを中心に経験を積んでいます。学生たちはIT、不動産、旅行、物流など多様な業界で実務を経験し、言語スキルや社会人としてのマナー、専門知識を向上させる機会を得ました。また、ホーチミンでは卒業生との交流会も開催され、活躍する先輩たちからの経験談が在学生にとって、大きな刺激となりました。本学は、グローバル社会での実践的な学びを提供し、キャリア形成を支援する取り組みを今後も続けていきます。



韓国大学生訪日研修団との交流会を開催

6月27日(木)、(財)日韓文化交流基金の事業として、韓国大学生訪日研修団49名が本学を訪れ、韓国語専攻の学生や教職員と交流を行いました。開会式では本学副学長の浜之上幸教授と研修団団長の宋達庸氏が挨拶し、研修団の学生代表が流暢な日本語でスピーチを行いました。記念品交換や記念撮影の後、学生たちは食堂で昼食を共にし、午後には日韓の文化や社会、学生生活など多様なテーマでグループディスカッションを行い、互いの理解と親交を深めました。今後もこうした交流が続くことが期待されます。



ボストン同窓会を開催

11月16日(土)、アメリカ・マサチューセッツ州で「ボストン同窓会」が開催されました。ボストンキャリアフォーラムに参加する本学学生約30名のボストン入りに合わせて企画され、卒業生が2名、在校生が15名集まりました。また卒業生ご自身が指導されているボストン大学の学生も参加し、国籍、世代を超えた交流の中でお互いの経験を共有しながら、本学コミュニティの絆をさらに強める活気あるイベントとなりました。



SUNY Oswego校が本学を訪問

7月12日(金)、アメリカ・ニューヨーク州に位置するSUNY Oswego校のFulbright-Haysプログラム(※1)に参加する一行が本学を訪問しました。SUNYは、ニューヨーク州全域に64のキャンパスを展開し、40万人を超える学生が在籍する全米有数の総合大学機構です。GLA学部では、SUNY Oswego校を含むリベラルアーツに特化した7つの大学と協定を結んでおり、今回の訪問はその交流の一環として実現しました。

※1 非西洋の外国語と地域研究に重点を置いた海外での研究および研修活動を支援することを目的に、教育課程の教員候補者や教員などに奨学金を授与するプログラム



地球のたびびと

No. 16

教務部 教学企画運営チーム 持塚 真弓

感謝を込めて、海外挙式を家族旅行として計画しました。バリは移動負担が少なく、海外らしい雰囲気も味わえる場所としてぴったりでした。父は初めての海外旅行で不安そうでしたが、母に任せ、現地で無事合流できました。

結婚式当日、伝統衣装に身を包み、ガムランの生演奏が響くチャペルへ父と向かう時間はとても特別でした。緑豊かな肅然たるホテルで、家族と過ごした穏やかなひとときは一生忘れられません。

帰り道、両親は空港でのアクシデントもありましたが、親切な現地の方の助けで何とか乗り越え、無事帰国しました。忙しいスケジュールでしたが、今でも両親が「あの時は大変だったね」と楽しそうに話します。少しでも親孝行ができていたらと思える、大切な思い出のひとつです。

書籍紹介

韓国語専攻の林史樹教授／金暎和元准教授による新刊

『二代男と改革娘 日韓の人類学者が韓国を語ってみた』

<著書紹介>

私たちはどのように「自慢」「愚痴」「自己卑下」を語っているのだろうか。また、「自慢」「愚痴」「自己卑下」を聞いている側は、どう反応しているのか。3つの語りに対して共感的な反応を示している会話に着目し、どのようなストラテジーを使用すれば、円滑なコミュニケーションに繋がるかを提案する。

【著 者】林史樹、金暎和 【発 行】皓星社 【価 格】2,200円(税込) 【頁 数】192頁 【ISBN】978-4-7744-0853-8

韓国語専攻の古川綾子非常勤講師が翻訳

2024年ノーベル文学賞を受賞したハン・ガン氏の著書『そっと静かに』

<著書紹介>

「歌は翼を広げて、私たちの生の上へと滑り出す。歌がなくて、その翼で生の上へと滑空する瞬間すらもなかったら、私たちの苦しみはどれほど重さを増すだろうか」——本文より
ハン・ガンが「書きたいのに、書けなかった」と回想する時期に生まれた本書には、音楽との出会い、さまざまな思い出にまつわる歌、著者自身がつくった歌について綴られている。著者の繊細な感性に触れるエッセイ集の初邦訳。巻末にはオリジナルアルバムの音源情報も収録！

【著 者】ハン・ガン、(訳)古川 綾子 【発 行】CUON 【価 格】2,420円(税込) 【頁 数】192頁 【ISBN】978-4-904855-70-6

遠藤美幸講師等による共著

『戦争のかけらを集めて—遠ざかる兵士たちと私たちの歴史実践』

<著書紹介>

やがてくる第二次世界大戦の体験者不在の時代に、私たちは、どうすれば過去とつながることができるのか——世代交代が進む戦友会や史料・メディアを通して、戦争に向き合う11人の研究者たちが、「断絶」に抗する術を探る。偶然出会った個人の生と死、戦後の片隅にいた集団の断片的な物語などを拾い集め、埋もれた歴史経験のリアリティを描きだす。これからの継承のかたちを構想し、過去の戦争が「歴史」になる時代に何ができるのかを考える。新しい研究者たちによる挑戦の一冊！

【著 者】遠藤美幸講師 他 【発 行】図書出版みぎわ 【価 格】3,520円(税込) 【頁 数】320頁 【ISBN】978-4-911029-09-1

ビジネス

Business

ビジネスデザインコース / デジタル情報コース

コミュニケーション

Communication

英語専攻コース / 韓国語コース / 中国語コース
スペイン語コース / フランス語コース / 国内大学編入コース

英語

English

ホスピタリティ

Hospitality

エアラインコース / トラベルコース / ホテルコース

グローバルスタディ

Global Study

海外大学留学コース / グローバルビジネスコース

神田外語学院は、**ビジネス** **コミュニケーション** **ホスピタリティ** **グローバルスタディ** という、現代のグローバル社会で求められる力を **英語とともに身に付ける専門学校** です。進路は、国内外の企業への就職・大学編入・海外留学と多岐にわたり、約6万人以上の卒業生が国内外で活躍しています。

就職内定率

98.9%

※2024年3月卒業生実績

大学編入学 受験者合格率

95.2%

※2024年3月卒業生実績

大学編入学

専門学校などの卒業生が、4年制大学の3年次または2年次へ進学できる制度です。多くの大学の編入学試験は、「英語・専門科目(小論文など)・面接」で行われるため、少ない科目で受験することが出来ます。神田外語学院で英語力を高め、編入学試験対策をしっかりとすれば、受験を断念した、または受験はしたもののよい結果がでなかった目標の大学に編入学することも夢ではありません。

★2025年4月に、大学編入学希望者向けの新コース「国内大学編入コース」を設置予定です。

大学編入学合格実績

※2024年3月卒業生実績

国公立大学 / 23名

埼玉大学5名、大阪公立大学1名、お茶の水女子大学1名、金沢大学1名、千葉大学1名、東京外国語大学1名 他

私立大学 / 142名 ※のべ合格者数

神田外語大学35名、青山学院大学6名、法政大学3名、東京女子大学2名、駒澤大学14名、日本大学12名、神奈川大学9名、文教大学7名、杏林大学5名、麗澤大学4名、大妻女子大学3名 他

神田外語大学への編入学

- ①募集定員=約100名
- ②入学金20万円免除
- ③学内選抜試験=3回/年 実施

編入学の詳細は
こちらから

日本語非常勤教員募集中！

姉妹校・神田外語学院では2024年10月に法務省認可の日本語教育機関である「キャリア日本語科」を新設しました。それに伴い非常勤教員を募集しています。

詳しくは
webで→

東京都認可の専修学校／姉妹校・神田外語大学
神田外語学院

お問い合わせ
フリーダイヤル

0120-815-864

受付日時:月曜日～金曜日
9:30～17:30(祝日・休校日を除く)

〒101-8525 東京都千代田区千代田2-13-13 TEL:03-3258-5838 FAX:03-3254-2516

✉ pr@kifl.ac.jp

企業研修・生涯学習のパートナーとして、卒業後の学びをサポートします。

企業研修

● 語学プログラム

● 非言語プログラム

・英語

底上げ/スキル/業務対応

・日本語

レベル別/ビジネス/マナー

・多言語

中国/タイ/仏/独 等

・異文化

マインドセット/海外赴任前準備

・グローバルマネジメント

リーダーシップ/エリアスタディ

・英語で学ぶ

ビジネス/リベラルアーツ

無料ランチセミナー

毎月、30分のランチタイム(12:20～12:50)開催
スマホからご視聴できます！

<テーマ>

・外国籍社員と共に働くためのヒント

・フランス人が教える仏流ビジネスの進め方 等

・初級学習者英語力アップ/TOEIC攻略

※テーマ、日程は変更となる可能性があります。ホームページでご確認の上お申込みください。

セミナー詳細・お申込みはこちら

神田外語キャリアカレッジ

お問合せ

東京都千代田区千代田2-13-9 神田外語本部ビル3階
電話：03-3254-7100 (月～金 9:30～18:00)
Email：kgcc@kifl.ac.jp

ホームページ

08

09



ボランティアセンター 活動報告

2013年に設立されたボランティアセンターは昨年で10周年を迎えました。

2024年度は、大学近隣の地域で行われるイベントのボランティアや、外国語を活かしたり外国文化に触れられるボランティアの人気があるようです。今後も学生に様々な機会を提供できるよう努めてまいります。

2024年度 ボランティア実績(11月末時点)

月	ボランティア名	人数
4月	幕張の浜ビーチクリーンボランティア	6
5月	ZOZOPARKスポーツフェスタ運営補助ボランティア	11
	スズキワールドカップ2024 第35回世界エアロビック選手権大会通訳ボランティア	3
	てらこやちば放課後居場所支援ボランティア	2
	習志野市立習志野高校自己発展学習支援ボランティア	3
6月	東京インターナショナルミュージックスクールボランティア	6
	「幕張新都心クリーンの日」ボランティア	2
	幕張の浜ビーチクリーンボランティア	4
	日本の食品輸出EXPO 通訳ガイドボランティア	2
	かがやけ第二共同作業所(福祉施設)社員旅行サポートボランティア	1
	ZOZOPARK「絵の具であそぼう」イベント運営補助ボランティア	10
6月～7月	都立白鷗高校附属中学校連携授業ボランティア	5
7月	献血案内ボランティア@イオンモール幕張新都心	1
	ブラジル&ラテンフェスティバル2024運営補助ボランティア	7
	「幕張わくわくのまち」ボランティア	1
8月	千葉市民花火大会事前ビーチクリーンボランティア	15
	夏休み学童サポートボランティア	6
	千葉市民花火大会当日ゴミ分別ボランティア	4
	ICYE:国際ボランティア(アメリカ)	2
	ICYE:国際ボランティア(カンボジア)	1
	ACTION:国際ボランティア(フィリピン)	1
	八千代・バンコク国際交流事業運営補助ボランティア	10
8月～9月	「真夏の幕張ラテン祭 フィエスタ・デ・ペラーノ」ボランティア	10
9月	第32回ACSIC実務者研修会運営補助ボランティア	17
	幕張の浜ビーチクリーンボランティア	4
	幕張南小学校「ニュージーランド交流会」通訳ボランティア	4
	X Games Chiba 2024運営補助ボランティア	1
	Kentarohohi Soccer School日本遠征言語サポートボランティア	1
9月～10月	東京ゲームショウ2024通訳ボランティア	2
	習志野市立習志野高校自己発展学習支援ボランティア	4
	中南米からの観光客向け都内観光ツアーボランティア	9
	「幕張新都心クリーンの日」ボランティア	1
10月	豊洲ナイトラン運営補助ボランティア	4
	幕張の浜ビーチクリーンボランティア	1
	旨辛グルメ祭り2024運営補助ボランティア	8
	幕張Bay-Park Welcome Party運営補助ボランティア	2
	幕張の浜ビーチクリーンボランティア	1
11月	ちばアクアラインマラソン2024通訳・運営補助ボランティア	9
	Around Japan in a Half Day Tour 通訳ボランティア	3

「第32回ACSIC実務者研修会運営補助ボランティア」に17名の学生が参加

9月3日(火)～5日(木)、一般社団法人全国信用保証協会連合会、株式会社日本政策金融公庫共催により、「第32回ACSIC実務者研修会」が日本にて開催され、本学からは17名の学生が運営補助ボランティアとして参加しました。この会議は、アジアの11ヶ国1地域17機関が加盟するACSIC(中小企業信用補完制度実施機関)の中堅職員を対象とした研修会で、各国が持ち回りで毎年開催する研修会であり、2024年は日本が主催することになったことから、今回ボランティアのご依頼をいただき運びとなりました。

このボランティアには、中国語や韓国語などのアジアの言語を学んでいる学生や、自分の英語力、ルーツを活かしながら来日された方々をサポートしたいという学生の参加が多く見られました。



主な活動内容は、研修会開催期間における参加者及び事務局とのコミュニケーションサポートで、スケジュールの合間での集合時間、場所等の伝達や、造幣局や川越散策時の同行サポートなどを担いました。学生たちは基本的に1人1機関を担当し、適宜英語や参加者の母国語でコミュニケーションを取りました。

先方の希望で渋谷のスクランブル交差点を案内したり、会食の手配を頼まれる学生もあり、各国の参加者から信頼され、高い評価をいただきました。

主 催：一般社団法人全国信用保証協会連合会、株式会社日本政策金融公庫
運 営：日本コンベンションサービス株式会社
日 程：2024/9/3(火)～5(木)
活 動 内 容：アジア11ヶ国1地域、17機関から研修を受けに来る若手実務者の会期中のアテンド、視察ツアーへの同行や訪問先での通訳などのサポート
活 動 場 所：品川プリンスホテル(9/3、4)、及び川越市内(9/5)
参 加 者 数：本学学生17名、姉妹校神田外語学院学生2名

「Kentarohohi Soccer School日本遠征言語サポートボランティア」に在学生在が参加

9月24日(火)～27日(金)の4日間、大井健太郎選手(静岡県出身/プロサッカー選手)がオーストラリアのメルボルンで運営されているサッカースクールの日本遠征が行われ、その際の通訳ボランティアとして1名の学生が参加しました。学生は、この活動が自分の学びと経験を最大限に活かせるボランティアの場であると感じ、参加を決めてくれました。

サッカースクールの選手は13～14歳の子供たちで、学生は、子供たちにわかりやすく伝える

ように心がけました。また、現場通訳だけでなく、保護者に対しての連絡事項を通訳したり、子供たちの素朴な疑問に英語で答えたりもしました。大井選手からは「とても積極的ですぐに子供たちと打ち解けてくれて助かった」とのお言葉をいただきました。

高い通訳スキルが求められ、緊張感・責任感が伴う現場でしたが、学生が今回経験した内容はどれも貴重で様々なことを吸収させていただき、大変充実した4日間となりました。

主 催：Kentarohohi Soccer School Pty Ltd
日 程：2024/9/24(火)～27(金) 3泊4日
活 動 内 容：練習・トレーニング(サッカー/ウェイトトレーニング)での通訳業務
活 動 場 所：静岡県磐田市(ジュピロ上大之郷グラウンド)、藤枝市
参 加 者 数：1名

参加学生の活動報告より

・英語・韓国語両方を使って自分にできるサポートをしました。活動で印象に残っているのは、韓国語が話せるとわかった時の韓国の方々の表情です。異国で母国語が使えるのはどれだけ嬉しいことか、笑顔になってくださったことがとても印象に残っています。また、ボランティア初日に比べて3日目の皆さんの表情が柔らかく、お互いに楽しそうに交流していた姿が心に残っています。

・ボランティアとしてどちらかというと運営側に近いところで今回の研修会の様子を見させていただきましたが、色々なところに細かい配慮が行き届いていて、運営の難しさとやりがいの間近でみるのがとても貴重な経験になりました。

・主催者の方々が、参加者が日本文化をたくさん体験できるようなコンテンツを準備して下さり、どの国の方も日本文化は興味深い、面白いと口を揃えて仰っていたことが印象に残っており、日本文化の大切さを感じました。

・私は将来の仕事がまだ明確に決まっていませんでしたが、今回のボランティアを通して、コミュニケーションのサポートや日程管理などの仕事を楽しいと感じたため、良い経験になったと思います。

・一番印象に残っていることは、最終日のFarewell Partyでのことです。数か国の人が集まり、全員で音楽を楽しんでいる様子を見て感動しました。参加者みんながそれぞれの国のダンスや歌を楽しんでいる様子を見て、人と人がつながることがいかに大切か、また自国のことについて誇りを持ち、他国に対して尊敬の念を持つことの大切さを学びました。

参加学生の活動報告より

・かなり高いレベルの語学力や通訳スキルを求められました。また、サッカー特有の用語(落ちる・楔・裏返す・裏 など)は事前に予習し、素早い訳出をできる準備が必要だと感じました。

・現場通訳だけでなく、コミュニケーションを円滑にとる姿勢も非常に大切だと感じました。



スピーチコンテスト・弁論大会

※学年は受賞時のものです

第42回全日本中国語スピーチコンテスト

東京大会

9月29日(日)に東京都日本中国友好協会・渋谷区日本中国友好協会主催の「第42回全日本中国語スピーチコンテスト東京大会」が開催され、本学の卒業生1名が以下のとおり受賞しました。

■受賞者



一般の部(社会人)スピーチ
最優秀賞・東京都日本中国友好協会会長賞
藤澤 さゆり(中国語学科2014年卒)

千葉県大会

10月27日(日)に千葉県日中友好協会・千葉県中国語学習会主催の「第42回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」が開催され、本学の中国語専攻の学生3名が以下のとおり受賞しました。

■受賞者



朗読の部
八街市長賞
和田 茂紀
(中国語専攻1年)



朗読の部
船橋市長賞
海老原 響
(中国語専攻1年)



スピーチの部
船橋市長賞
進士 咲良
(中国語専攻2年)

第10回城西大学中国語スピーチコンテスト

10月26日(土)に城西大学主催の「第10回城西大学中国語スピーチコンテスト」がZoomで開催され、本学の中国語専攻の学生1名が以下のとおり受賞しました。

■受賞者

朗読の部
埼玉県日本中国友好協会賞
鈴木 爽夏
(中国語専攻1年)



中検スピーチコンテスト

10月5日(土)に日本中国語検定協会主催の「中検スピーチコンテスト」が開催され、本学の中国語専攻の学生1名が以下のとおり受賞しました。

■受賞者

暗唱部門
優秀賞
海老原 響
(中国語専攻1年)



2024年JAL中国語スピーチコンテスト

12月7日(土)に日華青少年交流協会・日本航空(株)主催の「2024年JAL中国語スピーチコンテスト」が開催され、本学のグローバル・リベラルアーツ学科の学生1名が以下のとおり受賞しました。

■受賞者

優勝
佐川 ひかり (グローバル・リベラルアーツ学科4年)



第18回ベトナム語スピーチコンテスト

11月2日(土)に本学主催の「第18回ベトナム語スピーチコンテスト」が開催され、本学のベトナム語専攻の学生4名が以下のとおり受賞しました。国内の大学・高校など計8校からの参加者が出場し、カテゴリA・Eでは詩の朗読、カテゴリB～Dでは所定のテーマに沿ったベトナム語のスピーチが披露されました。

■受賞者

【優秀賞】:カテゴリA【詩の朗読部門】から1名 菅原 早桔(ベトナム語専攻1年)
カテゴリC【留学未経験者3・4年生のスピーチ部門】
1位 芝原 言美(ベトナム語専攻3年) 2位 古作 優果(ベトナム語専攻4年)
カテゴリE【親がベトナム人の高校生・学生のスピーチ部門】
2位 太田 美月(ベトナム語専攻1年)



【後援】駐日ベトナム社会主義共和国大使館

【参加校】神田外語大学、東京外国語大学、大阪大学、昭和女子大学、国士館大学、立命館アジア太平洋大学、関東国際高等学校、京都外国語専門学校

第42回全日本学生ポルトガル語弁論大会

11月18日(土)に京都外国語大学主催の「第42回全日本学生ポルトガル語弁論大会」が開催され、本学のブラジル・ポルトガル語専攻の学生1名が以下のとおり受賞しました。

■受賞者

京都新聞社賞
岩瀬 明日羽(ブラジル・ポルトガル語専攻2年)

【後援】駐日ポルトガル大使館、駐日ブラジル大使館、カモンイス院、マカオ大学、駐京都ポルトガル名誉領事館、駐神戸ポルトガル名誉領事館、駐大阪ポルトガル名誉領事館、京都新聞、京都ラテンアメリカ文化協会

【参加大学】神田外語大学、同志社大学、京都外国語大学、関西学院大学、大阪大学、愛知県立大学、上智大学、天理大学、常葉大学



第17回インドネシア語スピーチコンテスト

11月30日(土)に本学主催の「第17回インドネシア語スピーチコンテスト」が開催され、本学のインドネシア語専攻の学生1名が以下のとおり受賞しました。9校19名の参加者が出場し、カテゴリA～Dまで所定のテーマに沿ったインドネシア語の弁論が披露されました。

■受賞者

総合最優秀賞:カテゴリA～Cから1名
近藤 奈恩(インドネシア語専攻4年)

【共催】駐日インドネシア共和国大使館

【参加校】神田外語大学、大阪大学、慶應義塾大学、国士館大学、大東文化大学、中央大学、東京外国語大学、立命館アジア太平洋大学、ドルトン東京学園高等部



神田外語いしずゑ会〔本人・子弟〕入学金返還制度のお知らせ

【入学金返還制度】

神田外語大学の入学者本人もしくは両親・兄弟姉妹のいずれかが、本学または姉妹校・神田外語学院を卒業あるいは在籍している場合、「神田外語いしずゑ会」の入学金返還制度を利用することができます。

【入学金返還制度利用の条件】

1. 神田外語大学または神田外語学院を卒業した父母が扶養するご子息・ご令嬢が神田外語大学に入学する場合
2. 神田外語大学または神田外語学院を卒業した方の兄弟・姉妹が神田外語大学に入学する場合

※神田外語学院からの編入学生の方については、入学金を徴収していませんので、対象外となります。※入学時に申請されていなかった方は、神田外語大学学生支援部窓口へご相談ください。

KUIS卒業生交流会支援制度のご案内

神田外語大学同窓会では、部活、サークルのOB・OG会やクラス会の開催を支援する制度を実施しています。5名以上の本学卒業生・教職員(※退職された方も含みます)が参加する会であれば、参加者1名につき¥1,000を支援します(※ただし年度内に1回限り)。また、対面だけでなくZoom等のオンラインツールを利用した集まりについても支援いたします。詳しくは下記大学ウェブサイトをご覧ください。ご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。卒業生の皆様のご利用をお待ちしております。

KUIS卒業生交流会支援制度 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/54647/>

支援制度に関する
お問い合わせ

神田外語大学同窓会事務局 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1
TEL:043-273-2519 Email almn@kanda.kuis.ac.jp
受付時間 9:00~17:15 (土日・祝日、年末年始・入試期間・GW・お盆などの大学閉鎖期間を除く)

神田外語大学
同窓会ウェブサイトは
こちらから
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/alumni/>





新しい新卒採用手法の登場とこれからの就職活動 キャリアは自分で考えて、相談して、最後は自分で決める

新卒求人市場への新規参入者

「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」

従来、大学生の新卒就職活動は主に「大学の就職担当部署を通じた就職活動」や「リクナビ・マイナビなどの新卒就職情報サイトの利用」が主流でした。しかし、近年「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」という新たなサービスが新卒就職市場に登場しています。簡単に言えば、「転職エージェントの新卒大学生向け版」と考えるとわかりやすいでしょう。

今回はこのうち「オファー型就活サイト」を中心に説明していきたいと思います。「オファー型就活サイト」は最初に「当社は大学生登録者が10万人!登録企業は1万社!自己分析や希望する業界を入力すれば、あなたに関心を持ってくれた企業からスカウトメールが届きます。」というように、自社サイトへの誘導を目的とした募集を新卒就職情報サイトや広告を通じて行います。

登録後、実際に学生に対して、企業からスカウトメールが送られてきます。学生がメール記載の企業にエントリーを希望する

と、面接など選考の機会が設定されます。何回かの選考を経て、最終的に企業が採用を決定した場合、内定・入社が実現するという仕組みです。ビジネスモデルとしては、比較的わかりやすい構造といえるでしょう。今回は、この新しいビジネスモデルを展開する具体的な企業の例を挙げつつ、利用時の注意点について詳しく解説していきます。

〈業界の構造〉大手から中小まで数多くの企業が参入

「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」市場には、多くの企業が参入しています。例えば、大手ではリクルートが「リクナビ新卒エージェント」、マイナビが「マイナビ新卒紹介」というブランド名で事業を展開しています。そのほかにも、大手人材紹介会社から中小規模の人材紹介会社まで、幅広い企業がこの市場に参入しているのが特徴です。この背景には、人材紹介ビジネスの参入障壁が比較的低いという点があります。そのため、中小企業でも事業を立ち上げやすく、競争が激化している状況が見受けられます。

〈ケース〉「オファー型就活サイト (OfferBox)運営」株式会社i-plug

今回は、そうした企業の中でも、東証グロース市場に上場している大手の「オファー型就活サイト (OfferBox)」を運営している企業「株式会社i-plug」に注目し、同社の有価証券報告書から、同社のビジネスモデルを見ていきたいと思います。同社は新卒就職支援事業に特化しており、そのビジネスモデルを理解するための有益な情報を詳細に公開しています。このような同社の情報公開の姿勢は非常に前向きに評価できます。ここまで詳細なデータを公表している企業は珍しく、この業界を理解する点でも意義深いものといえるでしょう。

「OfferBox」への登録者・企業数・入社決定者人数

株式会社i-plugの2024年3月期有価証券報告書によれば、同期の売上高は約46億円、従業員数は334人にのぼります。同社の「OfferBox」には、累計で246,000人の大学生が登録しており、そのうち2024年3月卒業予定の学生7,394人が実際に入

社に至っています。また、サービスを利用している登録企業数(累積)は17,469社に達しています。

なお、同社の1人の学生が入社に至った場合の成功報酬にはいくつかのパターンがありますが、一般的な成功報酬型の場合、1人の入社で報酬は38万円とされています。このように、学生と企業のマッチングが成功した際に報酬が発生する成果報酬型ビジネスモデルが基本となっています。

新しい新卒採用手法の特徴・大学生の半数以上が何らかの形で登録

2023年度における「OfferBox」の登録者数246,000人という数字は、国内大学生の約半数が同社のサービスに何らかの形で登録していることを示しています。もちろん、登録はしていても実際には利用していない学生もいるかもしれませんが、いまや、「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」というビジネスモデルは多くの大学生にとって主要な就職活動ツールの一つになっていると言えるでしょう。これらの新しい就活手法は、従来の就職情報サイトや大学のキャリアセンターとは異なるアプローチで学生と企業をつなぐ存在として、今後さらに注目されることが予想されます。

【新しい新卒採用手法利用の注意点】

ここでは「オファー型就活サイト」を中心に新しい新卒採用手法について説明してきましたが、このサービスを利用する際には大学生にぜひ知っておいてほしいことがあります。以下に主な注意点をまとめました。

1. ビジネスモデルの理解 ～このモデルの就職には平均40～50万円の成果報酬が発生している～

まず、このビジネスモデルは、大学の就職担当部署やハローワークなどとは異なり、

「有料人材紹介業」に基づいています。一人の学生が企業に入社すると、その企業から「人材紹介会社」や「サイト運営会社」に成功報酬が支払われる仕組みです。転職市場では成功報酬は「年収の30～35%」が相場ですが、新卒市場の場合、1人当たり40～50万円が一般的な成功報酬額とされています。例えば、株式会社i-plugの場合、2024年3月期の売上高は約46億円、成約件数は7,394件となっています。仮に同社社員の3分の2が営業担当だとすると、1人当たり年間約35件(1か月あたり3～4件)のマッチングを行う必要があります。もちろん、企業の営業担当者は「学生の幸せなキャリアスタート」を考えて行動しているでしょう。しかし、成功報酬は企業から支払われるため、内定をゴールとした営業活動が進められていることは理解しておきましょう。

2. 案件は簡単にまとまらない ～成約率(入社決定者数÷登録者数)＝3%～

次に、「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」に登録すれば必ず内定・入社につながるわけではないことを知っておくべきです。例えば、株式会社i-plugの場合、登録者数は246,000人ですが、2024年3月卒業予定の入社決定者は7,394人で、決定率は約3%にすぎません。「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」に登録することは手段の一つではありますが、待ちの姿勢では理想の求人を得ることは難しいのが現実です。「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」のチャンネルだけに頼らず、自ら積極的に行動することが重要です。

3. 「理想の求人」は登録企業の範囲内での紹介に限られる

「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」が紹介する求人は、あくまでこれらの企業に登録している企業の中から選ばれます。例えば、株式会社i-plugでは登録企業数が17,469社にのぼりますが、そ

れ以外の企業の求人を紹介することはありません。この17,469社という数はいくつに見えますが、それでも国内のすべての企業を網羅しているわけはありません。さらに中小規模の新卒就職エージェントでは、登録企業数がさらに限られる場合があるため、希望する業界や職種によっては求人の選択肢が狭まる可能性があることを理解しておきましょう。

まとめ

長いキャリアを通じて能動的に企業研究を行う重要性

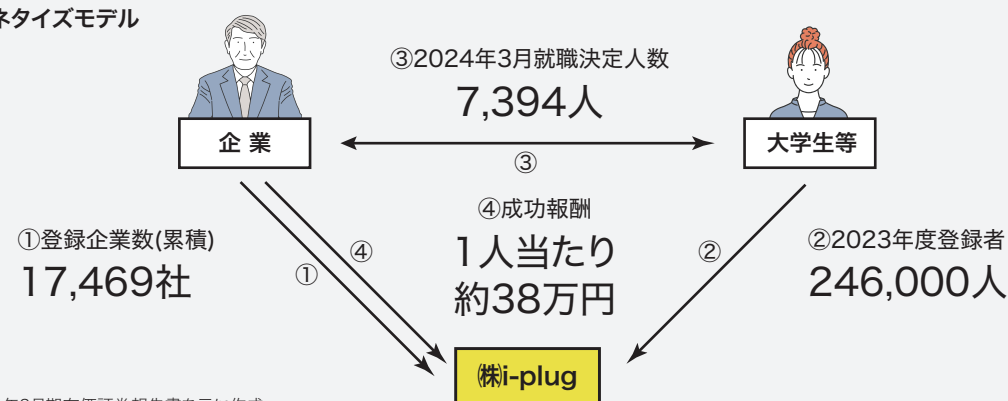
新卒就職市場において、「新卒就職エージェント」・「オファー型就活サイト」はすでに一定の地位を築いており、今後もその存在がなくなることはないでしょう。ネットワーク外部性が働く市場であるため、中小のエージェントは淘汰され、大手に集約されていくと思います。

一方で、転職市場ではタレントが出演する転職エージェントのCMが目立つなど、人材の流動化が進む時代になっています。しかし、理想的なキャリアとは「企業と社員が良好な関係を築き、一定期間は安定して働くこと」だと考えています。そのためには、長いキャリアを通じて自ら企業を見極める力を養うことが重要です。

大学では、「キャリア教育」や授業科目の中で企業研究や業界研究の機会を提供しています。これらの活動は、最初の就職先選びにとどまらず、その後のキャリア形成にも役立つスキルを身につける貴重な機会です。卒業後のキャリアは40年以上にわたることを考えると、在学中にできるだけ多くの情報に触れ、企業研究を深めることが、長期的なキャリア成功につながるでしょう。

～株式会社i-plugのビジネスモデル～

株i-plugのマネタイズモデル



2025年2月22日(土)に「第19回ホームカミングデー」を開催します

今回も楽しい企画をご用意していますので、是非ご参加ください。
久しぶりに懐かしいキャンパスで、先生方や旧友と一緒に過ごしませんか。

開催日時：2025年2月22日(土)13:30start (12:45受付)

場 所：神田外語大学8号館・食神

今回はよしもと幕張イオンモール劇場に出演中の旬なお笑い芸人によるステージの他、参加者全員が楽しめる企画を準備中です。また、1994年に卒業された方の卒業30周年、2004年に卒業された方の卒業20周年、2014年に卒業された方の卒業10周年記念祝賀会もホームカミングデーの催しとして実施する予定です。対象となる年代にご卒業された方には当日、記念品を贈呈いたします。そのほか、毎年恒例の大抽選会、来場者全員プレゼントをご用意してお待ちしております。是非、ご友人・ご家族をお誘いあわせの上、ご来場ください。

参加・申込方法は、同窓会ウェブサイトをご覧ください。キャンパスで卒業生のみならずとお会いできることを楽しみにしております！



司会は、フリーアナウンサーとして活躍中の渡辺一宏さん
(韓国語学科1994年卒)

■ 神田外語大学報が年1回の発行に変更

2025年度より、これまで夏と冬に発行していた大学報が、12月のみの発行になります。神田外語大学の最新情報は、以下よりご覧いただけます。ぜひ、QRコードにアクセスして、神田外語大学同窓会に遊びに来てください。

メールマガジンはおよそ3週間に1回のペースでお届けしています。メールマガジンの登録がまだという方はこちらからご登録ください。

★下記のような情報をいち早くお届けすることができます。

メールマガジン



同窓会ウェブサイト



神田外語大学同窓会では、以下ツールで情報を発信しています。

ホームカミングデーのご案内

在学生就職支援イベント
開催のご案内

卒業生同士のネットワーク
構築イベントのご案内

卒業生の活躍情報

求人情報

一般公開セミナーのお知らせ

2025年3月20日(木・祝) 令和6年度 学位記授与式・卒業パーティーのお知らせ

1. 学位記授与式について

学部/大学院日本語学専攻・言語科学専攻 学位記授与

体育館で式典を行った後、各教室にて学位記授与を行います。収容人数の都合により、ご家族の方々には、各指定教室で式の模様を映像でご覧いただけます。当日の会場誘導にてご案内いたします。



時 間	内 容	場 所
9:30 ~ 10:30	式典(学部・大学院共通)	(修了生・卒業生) 本学 体育館 アリーナ (卒業生のご家族) 学内指定教室
11:00 ~ 12:30	学部 学位記授与	所属学科・専攻毎の指定教室
11:00 ~ 11:30	大学院 学位記授与 (日本語学専攻・言語科学専攻)	4-311 教室
13:00 ~ 15:00	大学院 学位記授与 (英語学専攻)	3/23(日)オンライン開催

2. 卒業パーティーについて

学位記授与式後、卒業パーティーへのご参加(任意)をご案内いたします。

卒業パーティーは、卒業される先輩方に対し在学生が感謝の意を表し主催しております。パーティーはビュッフェ形式で行われ、KUISオリジナルカクテルの提供、有志団体のステージ発表、豪華景品が当たる抽選会、有名芸能人の招致等を予定しております。大学から会場までは無料の送迎バスをご利用ください。申込方法等の詳細は、キャンパスウェブにてご案内いたしますのでご確認ください。



時 間	内 容	場 所
13:30 ~ 16:00	学部卒業パーティー	ホテル スプリングス幕張
11:30 ~ 13:00	大学院謝恩会	Balcone 教職員エリア

お問い合わせ一覧 各部署へ直接お問い合わせください。

■1号館1階 事務局開室時間

平 日 土曜日
9時00分～11時10分 9時00分～11時30分
12時10分～17時15分

※12月21日(土)～2025年1月5日(日)は、冬季休業期間とさせていただきます。
※状況により、受付時間に変更となる場合があります。

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
科目履修、成績、休退学	教務部	043-273-1320
留学	国際戦略部	043-273-1615
学生生活、奨学金、学費、各種証明書	学生支援部	043-273-2948
就職、進路	キャリア教育部	043-273-1598

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
学生相談 カウンセリング	メディカルセンター	043-273-1495
大学全般、施設	総務部	043-273-1322
図書館の利用	図書館	043-273-1192
入試、 オープンキャンパス	アドミッション& コミュニケーション部	043-273-2826